

ASE が大学硬式野球部員の目標志向性に与える影響

野呂 修平 (生涯スポーツ学科 野外スポーツコース)

指導教員 黒澤 毅

キーワード：ASE, 大学硬式野球部員, 目標志向性

1. 序論

ASE はグループで一人一人の諸能力を出し合い、協力しながら課題を解決し、社会性を養うと共に決断力や挑戦意欲などの強化等に効果がある¹⁾。筆者は部活動の本来の教育目的である自主的や自発的な活動意識が大学硬式野球部員の中で低下しているのではないかと考え、野外教育プログラムであるASEに着目し、ASEが大学硬式野球部員の目標志向性に影響を与えるのではないかと考えた。

そこで、本研究はASEが硬式野球部員の目標志向性に与える影響について明らかにすることを目的とする。

2. 研究方法

【被験者】平成27年10月18日に行われたASEに参加したB大学硬式野球部に所属している部員のうち1～3年生の計28名を対象とした。

尚、アンケートの処理には記入不備があったものを除き、計22名を分析対象とした。

【ASEプログラム】

プログラムは3時間で構成し、ビーム、日本列島、ラインナップ、ヘリウムフープ、目隠し図形、ウォール、斜めウォール、バックフライング、エレクトリックフェンスの課題を行った。尚、4班構成で各班に指導者として野外教育を専攻する大学生が付き、班の状況を見ながら課題を選択して行ったため、1班7～8つの課題を行った。

【調査方法】目標志向性：スポーツ志向性質問用紙³⁾を筆者が独自に修正したものを用いて活動前(pre)、活動後(post)に調査した。

ふりかえりシート：目標志向性の変化の要因を調査するため、活動中の心情や行動を問う質問6項目と、野球場面に必要な資質向上を問う質問を含めたふりかえりシートを筆者が独自に作成し、自由記述で回答を求めた。

3. 結果及び考察

ASE前後で大学硬式野球部員の目標志向性へ向上は見られず、ASEが大学硬式野球部員の目標志向性に与える影響はなかった。

その要因として、活動中のふりかえり方法が考えられる。Kolb⁴⁾の内省・観察、一般化、仮説化の過程であるふりかえりのサイクルが十分に認識されなかったことが考えられる。本研究では、全プログラムが終了後、シートの記入を一斉に室内で行い記入した「今後の野球場面で活かせると思うこと」についてのみ各班1名ずつ発表した。全体でのふりかえり場面でも活動を何のために行っているのか、それが野球場面にどうつながるかといった具体的なふりかえりを行い、硬式野球部員の目標志向性ににつながるようにすることが必要であると考える。

また、被験者にはASEを経験している者が多くいたことも要因の一つとして挙げられる。伊原ら²⁾は、今までにない環境や課題に対する不安な状態を直接体験によって克服し、成功するプロセスが重要であると述べているが、本研究では課題への経験があることから、不安が少なく課題達成に向け試行錯誤を行なうプロセスでの学びが減少することも考えられる。

学年別にみると、活動前は1年生の個人目標の得点と集団目標の得点が高く、活動後は1年生の個人目標と3年生の集団目標の得点が高かった。

その要因として、調査時期はチームが新体制で始動したばかりであり、1年生にとってアピールしようと意気込んでいるのではないかと考えられる。また、ふりかえりシートから1年生は「自分のできることはすべてできた」などの記述が見られた。一方、2年生からは「先輩に任せっきりになっていた」など控えめで3年生を頼るような記述が見られ、最高学年の3年生はリーダーシップを発揮していたことが、得点が高かった理由と考える。

さらに、「今後の野球場面で活かせると思うこと」の自由記述からは、「状況を見ての判断は、試合の時と同じ状況判断能力に活かせると思う」、「守備のときでもしっかり会話ができるようになると思う」などといった記述が見られ、その背景には「状況を見て判断の声をかせていた」や「みんなが話し合っていたので班の成長を感じた」などの活動中に意見交換をしていた様子がとれる記述があった。

4. まとめ

1) ASEが大学硬式野球部員の目標志向性に与える影響はなかった。

2) 活動前は1年生の個人目標の得点と集団目標の得点が高く、活動後は1年生の個人目標の得点、3年生の集団目標の得点が高かった。

今後の課題として、目標志向性とASEの関係性をさらに検討し、ふりかえりを中心としたプログラムの検討をする必要がある。

引用・参考文献

1) 福富優, 平野吉直(2011): ASEを取り入れたキャンプ活動がサッカーチームの雰囲気および影響, 日本野外教育学会, 第14回大会プログラム, 研究発表抄録集, pp. 18-19

2) 伊原久美子, 飯田稔, 井村仁, 佐藤知行(2004): 冒険教育プログラムが小中学生の一般性セルフエフィカシーに及ぼす影響, 野外教育研究, 第7巻, 第2号, pp. 13-22

3) 石田靖彦, 小川久之(2011): スポーツ系部活動における目標志向性が部活動での取り組みに及ぼす影響-個人目標, 集団目標の観点から-愛知教育大学研究報告, 教育科学編, 第60巻, pp. 111-117

4) Kolb, D. A., Rubin, I. M., McIntyre, J. M. (1971): Organizational Psychology a book of readings. Prentice-Hall, Inc., New Jersey